

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	二松学舎大学
設置者名	学校法人二松学舎

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
文学部	国文学科	夜・通信	8	50	16	74	13	
	中国文学科	夜・通信				58	13	
	都市文化デザイン学科	夜・通信			4	62	13	
国際政治経済学部	国際政治経済学科	夜・通信	58		16	82	13	
	国際経営学科	夜・通信			16	82	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

①本学ホームページ： <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_subjectlist.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_subjectlist.html</a>
②本学シラバス（該当科目のシラバスに実務経験のある教員等について記載）： <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/campuslife/about/syllabus.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/campuslife/about/syllabus.html</a>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	二松学舎大学
設置者名	学校法人二松学舎

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ (<https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/about/secchi.html>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	前 預金保険機構 参与	2015.9.1 ~ 2019.8.31	企画、財務
常勤	前 千葉県立国府台高等学校 校長	2016.4.1 ~ 2022.3.31	高大連携
非常勤	前 奈良女子大学 学長	2015.9.1 ~ 2019.8.31	大学改革、FD等
非常勤	前 株式会社日立システムズ 取締役	2015.2.1 ~ 2019.8.31	キャリア関係、国際交流等
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	二松学舎大学
設置者名	学校法人二松学舎

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)は、「シラバス作成のガイドライン」に則り、各授業科目担当教員が作成している。シラバスの記載項目は、①科目の基本情報(授業科目名、担当教員名、シラバスナンバー、対象学年、開講キャンパス、開講学期、単位数等)、②授業の概要・授業の目的、③到達目標、④キーワード、⑤履修条件、⑥授業外における学習方法(予習)、⑦授業外における学習方法(復習)、⑧授業計画(各学期15回分)、⑨授業形式、⑩評価方法、⑪テキスト、⑫参考文献、⑬その他 の13項目に区分している。また、各担当教員が作成した授業計画(シラバス)については、適切な内容となっているかについて各学部教務委員会が第三者の視点によるチェックを行っている。</p> <p>授業計画(シラバス)の公表については、学生ポータルシステムによるほか、広く一般にも公表すべく本学ホームページからも閲覧できる形を整えている。当該年度の授業科目の授業計画(シラバス)については、学生の履修登録が円滑に行われるよう前年度末の3月に公開している。</p> <p>シラバス作成のガイドライン  <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/common/pdf/guideline.pdf">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/common/pdf/guideline.pdf</a>            各授業科目のシラバス            下段アドレスのとおり。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学 HP  <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/campuslife/about/syllabus.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/campuslife/about/syllabus.html</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定の方針に則り、定期試験の成績を前提としつつ、主体性、事前・事後学修の質・量、関心の深さ、思考の独創性等も含めた総合的な評価に基づき、各授業科目の到達目標に達していると認められる者について、単位認定を行うこととしている。</p> <p>また、授業中に行う発表やレポートの評価については、コモンルーブリックを策定し、各教員にはこれを使用して評価を行うよう推奨している。</p> <p>単位認定の方針について  <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_tani_nintei.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_tani_nintei.html</a></p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の客観的な指標として、GPA制度を採用している。GPAの使用に際しては、本学では各授業科目の成績評価として、試験の得点等の区分によってS・A・B・C・D・X・Y・Zの評語を用い、それぞれの評語にGP（グレードポイント）を設定し、以下のGPA算出方法により算出している。</p> <p>評語の得点区分は、S（90点～100点）・A（80点～89点）・B（70点～79点）・C（60点～69点）・D（59点以下）・X（出席不足による無効）・Y（試験の不正行為による無効）・Z（他大学等による単位認定）とし、また、評語に対するGPはS＝4.0・A＝3.0・B＝2.0・C＝1.0・D＝0.0とし、X及びYはいずれも0.0としている。</p> <p>これらの指標等は、全学生に配付する履修要項や本学HPにおいて公表し、教員に対しては、全教員に配付する出講案内において周知している。</p> <p>(計算式)</p> $(S \text{ の単位数} \times 4.0) + (A \text{ の単位数} \times 3.0) + (B \text{ の単位数} \times 2.0) + (C \text{ の単位数} \times 1.0) + (D, X, Y \text{ の単位数} \times 0.0) / \text{全履修科目単位数 (課程等の科目を含める)}$ <p>成績評価基準については下段アドレスのとおり。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学HP  <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_seisekihyoka.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_seisekihyoka.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、卒業の認定に関する方針を、「大学」「学部」「学科」単位でそれぞれ策定している。</p> <p>同方針では、学部等の目的に応じた学修を通じて、「知識・理解」「技能・表現」「思考・判断」「関心・意欲・態度」の各領域について所定の能力を身に付けた者に対し卒業を認定し学位を授与する旨を明示している。なお、同方針の具体的な内容についてはHPに掲載のとおり。</p> <p>これら卒業の認定に関する方針に基づき策定した教育課程の編成及び実施に関する方針では、各授業科目の学修を通じて身に着く具体的能力を明示しており、これらの能力を修得できているかどうかを判断する基準として、進級要件（2年次から3年次）及び卒業要件を設けている。</p> <p>これらの要件は各学部で定めており、最終的に卒業要件を充足し124単位以上を取得した学生について卒業を認定している。卒業認定に当たっては、各学部とも教務委員会において判定の原案を作成し、教授会で卒業判定の審議を行っている。関連URLは下段アドレスのとおり。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>文学部  <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html</a></p> <p>国際政治経済学部  <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html</a></p> <p><a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_sotsugyonintei.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_sotsugyonintei.html</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	二松学舎大学
設置者名	学校法人二松学舎

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/jigy/pdf/30jigyohoukokusyo.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:全学アクションプラン 対象年度:2018)
公表方法: <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/masterplan/pdf/actionplan_2018.pdf">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/masterplan/pdf/actionplan_2018.pdf</a>
中長期計画(名称:N' 2030 Plan 対象年度:2017~2030)
公表方法: <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/masterplan/pdf/n2030plan.pdf">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/houjin/masterplan/pdf/n2030plan.pdf</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/torikumi/gakumu.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/torikumi/gakumu.html</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=285&amp;page=1#result1">https://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=285&amp;page=1#result1</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_mokuteki.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_mokuteki.html</a> ) (概要) 文学部は、国文学科、中国文学科、都市文化デザイン学科の 3 学科を設け、国文学・中国文学・語学・文化学及び表現力や情報発信力等の素養を身につけ、さらに日本文化、東洋文化の本質を身につけた、異文化に対する深い理解を備えた真の国際人を育成し、教育界をはじめ産業界など、社会のあらゆる分野で活躍する優れた人材を養成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html</a> ) (概要) 二松学舎大学文学部は、国文学科、中国文学科、都市文化デザイン学科の 3 学科を設け、「国語力」を素養として、教育界をはじめ産業界など、社会のあらゆる分野で活躍できる真の国際人を育てることを教育研究上の目的とし、次のような人材の育成に努めます。 《育成する人材像》 ○ 日本文学・中国文学・語学・文化学等に関する十分な教養を身につけている。 ○ 身につけた教養に基づく表現力や情報発信力等を備えている。 ○ 日本文化や東洋文化の本質及び異文化に対する深い理解を身につけている。 この目的に応じたものとして、本学部では、所定の単位を取得し、「知識・理解」「技能・表現」「思考・判断」「関心・意欲・態度」の 4 領域それぞれについて一つ以上の能力を身につけた者に対して卒業を認定し、学位〔学士(文学)〕を授与します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html</a> ) (概要) 文学部では、教育研究上の目的を達成するため、学位授与の方針に掲げた能力を修得させるべく、「文学部共通科目」「学科共通科目」「専攻科目」「ゼミナール」「卒業研究」「総合科目」「自由選択科目」の各科目群を設け、各科目群に配置される各授業科目の位置付けを明確化し、順次性ある体系的な教育課程を編成し、各授業科目の位置づけを明確化しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/bungakubu/admissionpolicy.html</a> ) (概要) 二松学舎大学文学部への入学を志望する者は、本学の建学の精神を理解し、本学が「求める学生像」と、志望学科の教育内容を十分把握した上で出願する必要があります。また、高等学校等で以下の 3 つの能力を身につけておくことが望まれます。 ① 高等学校等の課程で学ぶ各教科・科目の知識・技能 ② 身につけた知識等を活用して問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力 ③ 意欲的に物事に取り組む態度(主体性・協働性等)

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際政治経済学部
<p>教育研究上の目的          (公表方法：<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/index.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/index.html</a>)</p> <p>(概要) 国際政治経済学部は国際政治経済学科及び国際経営学科の2学科を設け、政治・経済・法律・文化などの各分野の国際政治経済事象を融合した教育研究や、企業経営を巡る諸領域についての教育研究を行う学部とし、東アジア諸地域に関する政治経済の実態やグローバル社会における企業経営の諸課題等を把握させ外国語運用能力を涵養し、国際的、学際的視野に立って国際政治経済及び国際経営を学問的に考究でき、かつ国際政治経済に関する豊富な実践的知識を修得した国際社会に貢献する有為な人材を養成することを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針          (公表方法：<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html</a>)</p> <p>(概要) 国際政治経済学部は、国際的な視野をもって社会科学(政治・経済・経営・法律など)を総合的・融合的に学ぶことにより国際社会に貢献できる真の国際人を養成することを教育研究上の目的としています。そのために実践的な専門知識と外国語能力、世界の諸地域についての豊かな知識を身につけることが必要です。</p> <p>この目的に応じたものとして、国際政治経済学部では、学修・研究をとおして所定の単位を取得し、「知識・理解」「技能・表現」「思考・判断」「関心・意欲・態度」の4領域についてそれぞれ一つ以上の能力を身につけた者に対して卒業を認定します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針          (公表方法：<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html</a>)</p> <p>(概要) 国際政治経済学科のもとに「国際政治専攻」「国際経済専攻」「法行政専攻」の3専攻を設け、各専攻には当該分野に応じた専攻科目を配当しています。専攻領域を深く学修し、国内外の政治、経済、法律、国際関係に関する広い知識と、国際感覚に富んだ人間性を養います。</p> <p>国際経営学科のもとに、企業経営を巡る諸領域の応用実践的な専門知識が修得できるよう、マネジメント、マーケティング、ファイナンス、コミュニケーション等の分野ごとに専攻科目を配置しています。社会の仕組みを包括的に学びつつ、情報・外国語の運用能力を修得できます。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針          (公表方法：<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/faculty/kokusaiseikeigakubu/admissionpolicy.html</a>)</p> <p>(概要) 国際政治経済学部への入学を志望する者は、本学の建学の精神を理解し、本学部が「求める学生像」と、志望学科の教育内容を十分把握した上で出願する必要があります。また、高等学校等で以下の3つの能力を身につけておくことが望まれます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高等学校等の課程で学ぶ各教科・科目の知識・技能</li> <li>② 身につけた知識等を活用して問題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力</li> <li>③ 意欲的に物事に取り組む態度(主体性・協働性等)</li> </ol>

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：[https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j\\_daigakusoshikizu.html](https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_daigakusoshikizu.html)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
文学部	—	28人	6人	4人	0人	0人	38人
国際政治経済学部	—	17人	6人	6人	0人	0人	29人
附属研究所	—	2人	0人	0人	0人	0人	2人
その他	—	7人	0人	0人	0人	0人	7人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
				204人			204人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://www.acoffice.jp/niuhp/KgApp">https://www.acoffice.jp/niuhp/KgApp</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
二松学舎大学では「Student First」— 最大の受益者は学生 —との理念の下に、教職員の意識改革や教育研究の不断の改革、情報公開と社会的責任・コンプライアンス体制の充実といった課題に取り組んでいます。こうした取り組みとして、FD講演会、公開授業、学生の実態・満足度調査・学生による授業アンケート、各種意見交換会、大学教育学会への参加などのFD活動を実施しています。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	440人	489人	111.1%	1680人	1944人	115.7%	若干名人	4人
国際政治経済学部	240人	267人	111.3%	880人	1042人	118.4%	若干名人	5人
合計	680人	756人	111.2%	2560人	2986人	116.6%	若干名人	9人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	445人 (100%)	20人 ( 4.5%)	360人 ( 80.9%)	65人 ( 14.6%)
国際政治経済学部	207人 (100%)	4人 ( 1.9%)	170人 ( 82.1%)	33人 ( 15.9%)
合計	652人 (100%)	24人 ( 3.7%)	530人 ( 81.3%)	98人 ( 15.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 都道府県市区町村教員、私学教員、東京都特別区役所等				
(備考) 2018年度(2019年3月卒業)卒業生				



学部等名	入学者数	修業年限期間内			
		卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
文学部	481人 (100%)	409人 (85.0%)	19人 (4.0%)	47人 (9.8%)	6人 (1.2%)
国際政治経済学部	216人 (100%)	174人 (80.6%)	17人 (7.9%)	22人 (10.2%)	3人 (1.4%)
合計	697人 (100%)	583人 (83.6%)	36人 (5.2%)	69人 (9.9%)	9人 (1.3%)
(備考) その他は休学者					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学では授業計画の作成・公表に関して、「シラバス作成のためのガイドライン」を策定し、本学ホームページで公表している (<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/common/pdf/guideline.pdf">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/common/pdf/guideline.pdf</a>)。</p> <p>また、各授業科目のシラバスは、全科目について本学ホームページで公表している。 (<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/campuslife/about/syllabus.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/campuslife/about/syllabus.html</a>)</p>
---

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>標準修業年限の4年間在籍し、各学部のディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに基づき策定されたカリキュラム上の諸要件を含み、卒業に必要な124単位以上を取得した学生について、それぞれの学部教務委員会及び教授会において卒業判定を行い、合格した者に卒業を許可し学位を学部長及び学長名で授与する。 (<a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_sotsugyonintei.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_sotsugyonintei.html</a>)</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	国文学科	124単位	有	40単位
	中国文学科	124単位	有	40単位
	都市文化デザイン学科	124単位	有	40単位
国際政治経済学部	国際政治経済学科	124単位	有	40単位
	国際経営学科	124単位	有	40単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：本学HPによる <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_seisekihyoka.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/j_seisekihyoka.html</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：本学ホームページによる。 <a href="https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/campus/index.html">https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/campus/index.html</a></p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
文学部	国文学科	746,000 円	280,000 円	250,000 円	その他は「施設費」
	中国文学 科	746,000 円	280,000 円	250,000 円	その他は「施設費」
	都市文化 デザイン 学科	746,000 円	280,000 円	250,000 円	その他は「施設費」
国際政治 経済学部	国際政治 経済学科	746,000 円	280,000 円	250,000 円	その他は「施設費」
	国際経営 学科	746,000 円	280,000 円	250,000 円	その他は「施設費」

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要) 全ての教員によるオフィスアワーを実施し、学修についてのアドバイスや授業内容等についての質問等に対応している。</p> <p>年度初めに教職協働による履修相談を実施し、各学年にとってより適切な履修が出来るよう相談に応じている。また、ピアサポートの一環として新入生に対して上級生が履修アドバイスを実施している。</p> <p>九段キャンパス2号館にラーニングコモンズを設け、学生の主体的な学習を支援するためのスペースや機材等を用意している。</p> <p>インターネット環境を介した英語学習システムを導入し、学生が時間や場所を問わずに自由に利用できる環境を整えており、外国語教育を支援している。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要) 一人一人が希望する進路（企業就職・教員・公務員・進学等）の実現を目指し、キャリア教育（正課授業）・就職対策講座（キャリアセンター支援行事）・進路指導面談等を通じて、将来を見据えた自分自身の人生計画を描き、自己成長するよう支援をしている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要) 学生相談室では、充実した学生生活のために、悩みの相談に応じている。</p> <p>相談の内容によっては、よりふさわしい相談機関を紹介する。</p> <p>保健室において看護師による簡易な健康相談等も随時応じている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <https://www.nishogakusha-u.ac.jp/about/disclosure/johokokai.html>